学校番号	３０２

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単　位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　標準古典探究」　（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・授業ノートは、黒板を写すだけではなく、自分で気づいたことや、人の発言内容もメモしていきましょう。
・定期考査は、年に５回あります。計画的に学習に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解をさらに深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解をさらに深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	十訓抄 ［教材］ 文字一つの返し	a：平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、制約のある中でふさわしい返歌をした成範の機転を味わう。 a：説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 b[読]積極的に説話を読み、成範の機転とはどのようなことであったか理解を深めようとしている。 c：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 c：主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	古今著聞集 ［教材］ 古式部内侍が大江山の歌の事	a：著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 a：説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 b[読/書]古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 和歌の修辞について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしたりしている。 c：積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	徒然草 ［教材］ 相模守時頼の母は よろづのことは頼むべからず	a：作者の鋭い観察眼を通して綴られた、世の諸事象に関する随筆を読んで、物の見方・考え方を深める。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

		b[書]随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り自分のものの見方考え方を深め自分の言葉で書き出そうとしている。 c：作品に表れた我が国の中世的なものの見方、考え方に対して、学習の見通しをもって理解を深めようとしている。			
2	方丈記 ［教材］ ゆく川の流れ	a：作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 b[話/聞]和漢混淆文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 また、グループで和漢混交文について調べて発表を行う。 c：文体の歴史的背景をふまえて『方丈記』を読み、学習課題に沿って、表現の特色を評価しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	故事成語・寓話 ［教材］ 画竜点睛　　朝三暮四	a：作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 b[話/聞]「画竜点睛」に関連して、技術の習熟に関わる逸話を調査し、その成果をまとめたり発表したりする。 c：技術の習熟に関わる逸話を進んで調べ、その成果を工夫してまとめたりわかりやすく発表したりしようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	死諸葛走生仲達 『三国志』と 『三国志演義』	a：諸葛亮と司馬懿の心理戦を味わうとともに、二人の人物像への理解を深める。 b[読]史伝という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：「死諸葛走生仲達」と『三国志演義』で同じ場面を描いた箇所とを読み比べ、構成や表現、内容の違	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

		いについて理解することを通して「死諸葛走生仲達」への理解を深める。 c：「死諸葛走生仲達」と同じ場面を描いた別作品と粘り強く読み比べ、構成や表現、内容の相違点をまとめようとしている。			
3	源氏物語 ［教材］ 光る君誕生（桐壺） 若紫（若紫）	a：歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 b[読]長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間